

## <レポート>

### 「プレ・インターンシップ研修に参加して」

プレインターンシップ研修生鍼灸科 2年

会社員だった私は、自分が重症の突発性難聴で休職していたときに、一掌堂治療院の治療を受け回復した経験から、一念発起して鍼灸学校に入学しました。

ところが、いざ学生になってみると、目の前の課題やテストに追われて毎日が過ぎ、あの東洋医学や鍼灸にわくわくしていた気持ちを見失いそうになっていました。そんなとき、ホームページでプレ・インターンシップ学生募集の告知を見て、鍼と出会った原点に還るような気持ちで、迷わず応募しました。面接を通過したとご連絡をいただいたときには、憧れていた先生方に、今度は鍼灸学生として再会できると、本当にうれしかったです。

インターン学生と聞くと、学生が職場体験する（働く）ことを連想しますが、今回は働くのではなく院内研修に参加させてもらいながら、学習援助金もいただくという恵まれた待遇で、全6回の勉強会に出席しました。勉強会では「環境汚染と化学物質」、「電磁波と健康」、「高層住宅の妊娠への影響」など現代社会ならではのテーマや、「アロマセラピー」、「不妊治療」、「更年期症状と鍼治療」といった、いままさに治療院で取り組まれているテーマについて、先生方がグループごとに解説と資料をまとめたレジメを準備され、ときには実験やワークショップを交えた発表と、鍼灸治療のデモンストレーションが行われました。

研修のため、土曜日の診療後の治療院に伺うと、バックヤードでも常に温かい気配りやチームワークが感じられ、勉強会の後にはいつもおいしいお弁当をいただきながら、お話しを聞くが楽しみで、研修に通った1年はあっという間でした。

気が付くと上級生の国家試験も終わり、次はいよいよ自分の番です。当面の目標はもちろん試験ですが、いきいきと働いている女性鍼灸師の先生方の姿に実際に触れ、試験のもっと先を再認識する、そんなまたとない時間をいただいたと感謝しています。